

## 令和7年度 学校評価表

《学校教育目標》	＜定時制教育目標＞
幅広い教養と高い専門性を追求し、社会に開かれた学びをとおして、平和な未来に貢献できる心豊かな人間を育成する。	多様な教育ニーズを持った生徒に寄り添った学びの場を提供することで、一人一人が社会的に自立し、平和な未来に貢献できる心豊かな人間を育成する。
	今年度の重点目標
	<ol style="list-style-type: none"> <li>ライフスタイルや学習状況に合わせた学習支援と基礎学力の定着 じっくりと時間をかけてわかる授業、伸びる授業を工夫して基礎学力の定着を図る。 学習状況の実態を把握し、各教科において「学び直し」等により、個に応じた学力の伸長を支援する。</li> <li>個に寄り添った教育の充実といじめ・体罰のない安心・安全な学校づくり 外部機関・保護者・地域社会と協働した支援を学校全体で組織的にし、すべての生徒が安心・安全な学校生活を送ることができる学校づくりを進める。</li> <li>生徒を社会へつなげるためのしくみづくり 定時制教育振興会や、就労支援の外部団体、ハローワークや地元の教育機関との連携により、生徒の就業体験の機会を増やし、進路実現のためのしくみを構築していく。</li> </ol>

【評価の基準】 A：十分 B：おおむね十分 C：やや不十分 D：不十分

領域	重点目標とのかわり	大項目	目標や評価の項目	評価の観点	成果と課題	評価	改善 向上策等
教科指導・学習活動	① ②	授業・学習の充実	基礎・基本の定着	高校生として必要な最低限の内容を各教科で検討し、その定着を図ることができたか。	基礎学力の定着では一定の成果があった。社会生活に必要な力（ソーシャルスキル）も身につけつつある。	B	中学以上のレベルの学力が定着するよう指導するとともに、社会常識も身につけさせたい。
			個に応じた学力支援	「学び直し」等により、生徒ひとり一人にあった学習支援ができたか。	「ベーシック」授業で「学び直し」の支援を行っている。生徒個々に対応するには、さらなる工夫が必要である。	B	生徒の学びを促すため、授業の工夫、職員間の情報交換を恒常的に行う。
			授業評価の実施	生徒による授業評価を行い、それを反映した授業づくりができたか。	生徒による授業評価（年2回）を授業に概ね反映することができた。	B	改善点・課題を明確にして授業内容の向上に更に努めたい
生徒指導	① ②	生徒指導の充実	安心・安全な学校づくり	日頃より声掛け、面談などで生徒の心の変化に気づき、適切な対応ができたか。学校生活アンケートなどで生徒の実態をつかみ、生徒が安心・安全に学校に通える環境づくりができたか。	教員全体で連絡を密に取り合い、生徒の実態把握に努力した。支援等が必要な生徒・保護者には、カウンセリングなどを行った。	B	生徒の見守りや、生徒とのコミュニケーションを日常的にとり、生徒・保護者・外部機関と連携をとる。
			予防的・啓発的生活指導	反社会的行動についての知識・理解を深め、マナー・ルールを守り規則正しい生活ができるように指導できたか。	問題行動があるたびに、HRで掲示による注意喚起等を行った。外部講師による講演会などを設け指導を行った。	B	全校生徒が集まる機会に呼びかけを行う。講話については、生徒の出席率を高めるとともに、内容の充実をはかりたい。
自主活動・特別活動	② ③	部活動の充実 生徒会での取り組み	生徒個々の能力・自主性の指導・援助	部活動を通して個人の能力や自主性を高めるための指導・援助を行うことができたか。	日頃の練習の成果を発揮し、全国大会に出場するなど成果を出すことができた。また、練習時間を確保し、生徒が自主的に練習をすることができた。	A	生徒の十分な技能向上に向けて、引き続き練習時間の確保に努めたい。
			生徒会行事への取り組みと集団との関わり	生徒会行事へ積極的に参加するとともに、計画・実行の過程で、周囲と協調して活動する指導ができたか。	生徒会主導で各種行事を計画・実行することができた。また、行事当日も委員会の枠を超え協調して活動する姿が見られた。	A	来年度も、今年度同様、生徒が計画・実行する生徒会活動を実現させたい。

進路指導・キャリア教育	③	進路指導・キャリア教育の充実	進路ガイダンスの充実	全ての生徒に進路情報の提供と説明を十分に行い、生徒個々に応じた職業観を持てるように指導ができたか。	学年主導で実態に即した情報提供を行った。学年や生徒個々に応じた進路指導を充実させたい。	B	引き続き、将来につながるような情報提供を行い、卒業後の進路に役立てたい。
		定時制教育振興会・関係諸機関との連携強化	定時制教育振興会・関係諸機関との連携	関係諸機関との連携や定時制教育振興会の協力を得ながら、求人開拓や就労体験の機会を設けることができたか。	地元企業の協力を得て就業体験の機会があった。ただし体験する生徒が必ずしも残念だった。	B	関係諸機関と繋がり、生徒の要望に応じて、就業体験やアルバイトから就職への道を探っていきたい。